

新人発表会を終えて — 歯科医師として前進 ／臨床で改善を重ねる —

日時：平成27年4月5日（日）
場所：東京／都市センターホテル



半澤 昌也
(東京都)



青柳 恵子
(長野県)

歯科医師として前進

半澤 昌也

平成27年4月5日（日）2015年度新人発表会が行なわれました。

当日は午前9演題、午後10演題、計19名による新人発表がおこなわれ、また昼食後には専務理事笹谷和伸による「介護保険から考える今後のインプラント治療」と題して特別講演会が行われました。

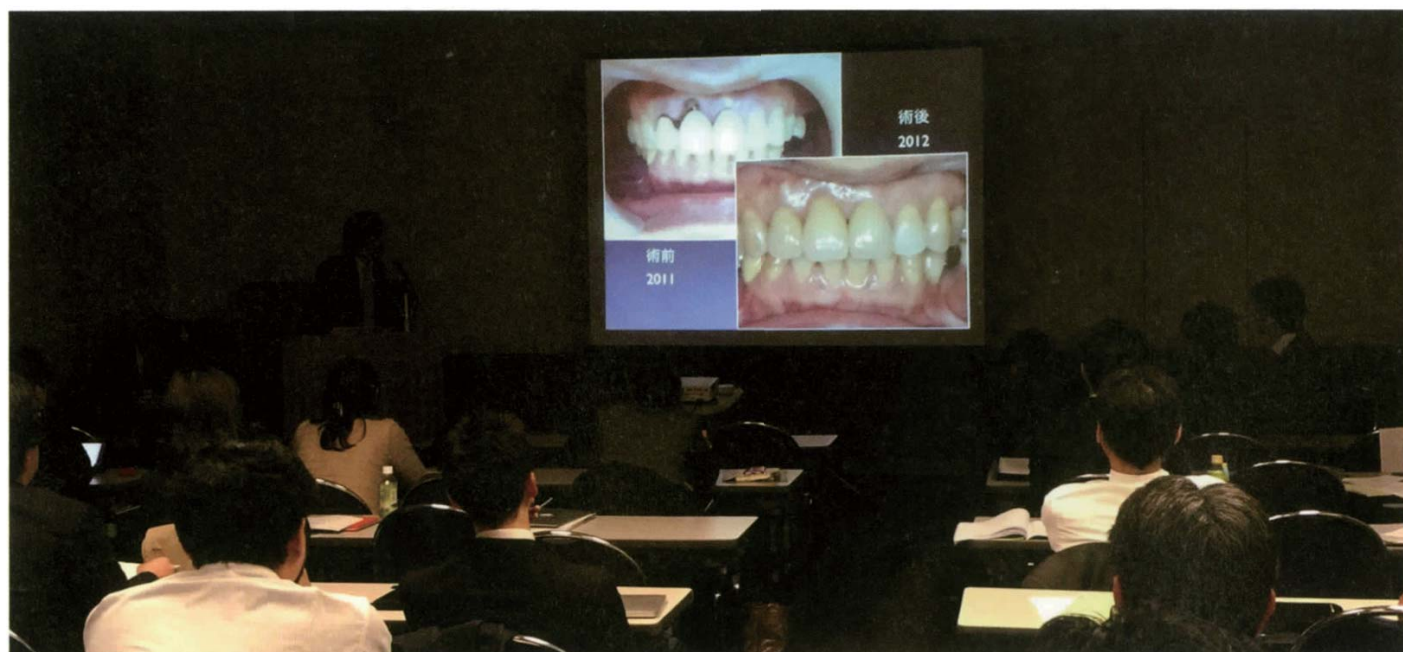
笹谷先生の講演では患者さんの人生の終末期において、インプラントがどうあるべきかという大変考えさせられる内容でとても貴重なお話を聞くことができました。

我々若い歯科医師はインプラントをいかにうまく入れるかということばかりに目が向かいがちですが、笹谷先生の講演を拝聴し、いかに患者さんの口腔内のインプラントの役割を終わらせるかとい

うことも考えながらインプラント治療に取り組んでいかなければならないと考えさせられました。

さて、メインの新人発表会ですが、まだインプラント治療を始めたばかりという先生から経験豊富で最先端の治療に取り組んでいる先生、大学病院や総合病院の口腔外科で私のような一般歯科医には想像もつかないような手術で腕を振るっている先生と様々な歯科医が参加し、すべての先生がインプラントの症例報告を行うという大変質の高い新人発表会となりました

私に関しては、これまで内輪の勉強会で症例発表をしたことがあるという程度の経験しかなく、このようなきちんとした場で発表するのは初めてです、当然のごとく、しどろもどろの恥ずかしい発表内容となってしまいましたが、大勢の先生方に自分の症例を見ていただくということがとても



有意義なことだと気づかせていただきました

私はこれまで特定の研究会やスタディーグループに所属することなく、ある意味自己流でやってきてしまいました。しかし昨年の100時間セミナーを受講して基本の大切さ、現在のインプラント治療における主流の考え方を把握すること、エビデンスの重要性を痛感させられ常に反省の日々だったのです。

発表後及びその後の懇親会では田中譲治会長をはじめ、たくさんの先輩方から適切なアドバイス、貴重な意見を聞かせて頂き自分では気づかなかった新しい発見がたくさんありました。さらに目標を同じとする情熱に溢れた先生方に囲まれ、同じ時間を過ごすということが歯科医師として大きく前進することにつながると改めて実感し、この日本インプラント臨床研究会に入会して本当に良かったと思いました。

最後に新人発表会を運営してくださった先生方に厚く御礼申し上げるとともに、今後とも会に少しでも貢献できるよう頑張りますので、未熟者ですが末永くお付き合いしていただけたらと思います。



新人発表から学んだこと

青柳 恵子

平成27年4月5日（日）に東京都千代田区平河町にある都市センターホテルにて、新人発表会が行われましたのでご報告致します。

発表者は平成26年度に100時間の認定講習会を受講した研修会員のうち、19名が講習会での成果を発揮しようと全国から会場に集まりました。

久々の再会に沸くのも束の間、9時30分には田中譲治会長から暖かい応援のご挨拶をいただき、やや緊張した面持ちの新人が順次発表を行いました。

はじめてインプラント治療に取り組んだ会員から、ある程度の経験を重ねてきた会員まで、多種多様な発表内容から、日々の臨床の成果を如何なく発揮しようと準備をされてきたことが伺い知れました。

その発表を皆が聞き漏らすまいと真剣に聴講している姿から、会場の雰囲気も心地よくとても有意義な時間を感じられました。

また、新人発表の後に行われる質疑応答の時間にも、昨年の講習会でお世話になったベテランの先輩方から優しく丁寧なご指導をしていただき、大変学びの多い貴重な1日となりました。

他の講習会では見られない特有の温かさがとても有り難く感じました。

午後には特別講演会があり、笹谷和伸先生から「介護保険から考える今後のインプラント治療」のお話がありました。

2000年から超高齢社会を迎え、男性79.55歳、女性86.30歳の平均寿命となりました。平均寿命から健康寿命を差し引くと、男性9.13年、女性12.68年も介護が必要な期間があるとのお話に現状を改めて認識しました。

歯科医師が少しでも患者さんの健康寿命を延ばすことに貢献できたら・・・という気持ちが沸き起こる貴重なご講演でした。

その後も引き続き新人発表が行われ、会員の先生方からは口腔内写真についてのご指摘や、矯正治療も含めた治療法について、専修医・専門医取得への取り組み方のご指導いただきました。

新人発表会を受講した後も、ご指導いただいた内容は日々の臨床で改善を重ね少しでも進歩できるように心がけております。

日本インプラント臨床研究会が40周年記念大会を開催された盛況の時期に入会させていただき、多くの仲間に出会えたことに心から感謝をして、このご縁をこれからも大切にしていきたいと思っております。

最後になりましたが、日頃から温かくご指導をいただいている田中譲治会長をはじめ多くのお世話になっております先生方にこの場をお借りして心から感謝申し上げます。有難うございました。



